

## 平成30年度 加古川中央市民病院 地域連携会議が開催されました

5月31日(木) 17時より加古川プラザホテルにて地域連携会議を開催しました。地域医療機関から232人の方々にご参加頂きました。誠にありがたく感謝しております。第1部は神戸大学医学部附属病院 平田健一病院長から「神戸大学医学部附属病院と地域医療機関との連携について」という演題でご講演賜りました。第2部は当院の乳腺外科、TAVR、脳血管内治療と新設した診療科や新たに開始した治療及び新体制となった患者支援センターを紹介させて頂きました。また、第3部の意見交流会は例年通り活発な意見交換が行われ、盛況のうちに終えることができました。

今後とも、地域医療連携の益々の発展のため、職員一同努力していく所存でございます。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 第3回小児科公開講座

5月23日(水) 第3回小児科公開講座として、小児科医長でありアレルギー疾患専門医 橋本総子医師による公開講座を開催いたしました。

演題は、第1部「子どものアレルギーについて」、第2部「子どもの病気の初期対応」であり、当日はお母さんや教職員の方々など30名の参加があり、参加者からは、「とてもわかりやすかった」「具体的なアドバイスを受けられてよかった」という声を聞くことができました。次回は、「予防接種について」の講座を9月25日(火)に開催予定です。

(小児在宅医療支援室担当)



## 平成30年度 患者支援センター主催 研修会年間予定

### 「在宅医療連携研修会」

◆開催場所:加古川中央市民病院 光(きらり)ホール ◆対象者:地域医療関係者  
◆開催日時:各回 18時～19時30分(受付 17時30分～)

6月28日(木)「在宅、施設での摂食嚥下・口腔ケア お困りごとはないですか? Part1」  
「摂食・嚥下障害とは」「言語聴覚士でも困る! 食事介助のこんなとき」  
8月 2日(木)「在宅、施設での摂食嚥下・口腔ケア お困りごとはないですか? Part2」  
「嚥下しやすい食事形態」「口腔内残渣物が少ない食事」  
「正しい入れ歯のお手入れ方法」「正しいブラッシング」  
10月25日(木)「未定」 12月13日(木)「未定」 2月14日(木)「未定」

### 患者支援センター地域連携室

予約専用 TEL.079-451-8651 / FAX.079-451-8653

その他 TEL.079-451-8652 / FAX.079-451-8654

[http://www.kakohp.jp/medical\\_person/](http://www.kakohp.jp/medical_person/)



## 加古川市民病院機構 理念

いのちの誕生から生涯にわたって  
地域住民の健康を支え、  
頼られる病院であり続けます



巻頭言  
こどもたちに最善の医療を ……2  
診療ドクター紹介 ……3  
登録医紹介 ……6-7  
連携室ニュース ……8

## 特集 4-5

チームで取り組む小児科医療  
～小児神経分野とその取り組み～



# こどもたちに 最善の医療を



院長補佐(兼)  
小児在宅医療支援センター長(兼)  
こどもセンター長(兼)  
小児科主任科部長

よね た に ま さ ひ こ  
米谷昌彦

## 巻頭言

当院の基本理念は「いのちの誕生から生涯にわたって地域住民の健康を支え、頼られる病院であり続けます」であります。小児科は、まさに「いのちの誕生から成人に至るまで」のさまざまな成育段階のこどもたちに専門的かつ高度な医療を提供する責務を担っています。周産母子センターの新生児部門(NICU15床、GCU30床)では、産科部門とも連携して東播磨地域、北播磨地域より24時間体制で新生児の入院を受け入れて集中治療を行っています。こどもセンターでは、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科など小児に関わるさまざまな診療科と密に連携して多様な疾患に対する医療を提供しています。

先天性心疾患などの先天異常や早産・低出生体重児など出生後早期より対応が必要な疾患に対しては複数の診療科や多職種にわたるスタッフが協働したチーム体制で診療にあたる必要があります。NICUから始まる早期の理学療法や心理支援なども当科の特長のひとつです。退院後も在宅で医療的ケアを必要とする児には、NICU・GCU、こどもセンターの多職種のスタッフが合同で十分なカンファレンスを行い、切れ目のない診療を行っています。新病院になって活動を始めた小児在宅医療支援センターでは、専任の看護師や医療ソーシャルワーカーが退院後のこどもたちとその家族へさまざまな支援を行っています。また、気管支喘息や食物アレルギーなどのアレルギー疾患には小児アレルギーエデュケーターの資格を持った看護師や管理栄養士などが主治医と共に積極的に患者や家族の指導に当たります。呼吸管理が必要なこどもたちには呼吸療法認定士の資格を持つ看護師や理学療法士がケアを行うなど、チーム医療でこどもたちを支えます。

これからも、地域の医療機関や行政などともしっかりと連携をはかりながら、頼られる小児科としてこどもたちに最善の医療が提供できるように努めてまいります。

## 診療ドクター紹介

### 腎臓内科



腎臓内科 主任医長  
白井敦

専門分野  
腎疾患全般

糸球体腎炎に対する腎生検や慢性腎臓病教育入院、腎代替療法の導入と透析アクセスの作成・管理、維持透析患者さんの入院中透析などを行っています。健康診断で尿蛋白など尿所見異常を認める場合など、早期介入することで将来の末期腎不全のリスクを可能な限り回避できればと考えております。今後も地域の先生方と連携して診療を進めたいと考えており、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。



腎臓内科 医師  
菊田淳子

専門分野  
腎疾患全般

ご紹介いただいております患者さんの腎疾患は、原因・背景疾患やその治療も多種多様であり、日々やりがいを持って診療に取り組んでおります。今後も患者さんにより満足して頂けるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



腎臓内科 医師  
能瀬勇馬

専門分野  
腎疾患全般

2018年4月から当院で勤務しております能瀬勇馬と申します。保存期腎不全から血液・腹膜透析症例などを担当させていただいております。特に血液透析症例に関しましては、シャント作成からシャントトラブルなどを含め当科で対応をさせて頂いております。地域の患者さんのために診療に邁進していく所存でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 整形外科



診療部副部長 兼 整形外科 主任科部長  
西山隆之

専門分野  
股関節外科、人工関節、足の外科

当院では「関節センター」を開設し、人工関節手術・骨切り術等の関節温存手術を中心に診療を行っています。人工関節手術では、最新のナビゲーションシステムを導入し、より安全で確実な手術を心がけています。また、若年者に対する骨切り術も積極的に行っており、昨年より低侵襲骨切り術にも取り組んでいます。このように個々の患者さんにとって最適な関節治療を提供できるように心がけています。関節痛でお困りの患者さんがおられましたら、是非ご紹介いただければ幸いです。



整形外科 科部長 兼 リハビリテーション科 主任科部長  
織邊隆

専門分野  
整形外科一般

変形性関節症および外傷を中心に診療を行っています。変形性関節症、中でも膝関節症に関しては開院時の2016年より導入されたナビゲーションシステムを利用し、より正確な下肢アライメントの再建をめざし手術を行っています。また外傷に関してはレントゲン、CT、MRIなどを用いて損傷の評価を適切に行い、機能回復を目指して他の多職種で連携し、治療を行っています。



整形外科 科部長  
熊谷宏

専門分野  
整形外科一般

当院では主に骨接合術、変形性関節症に対して人工関節置換術をおこなっております。整形外科一般の診療においても画像診断や生理学的な検査が必要なことがありますが、出来るだけ迅速に診断や治療の開始が行えるよう心掛けてまいりたいと思っております。その上で各々の患者さんに最適な治療を提供するよう努力いたしますので何卒よろしくお願いいたします。





# チームで取り組む小児科医療

## ～小児神経分野とその取り組み～

当院の周産期センターでは、早産児、先天性心疾患、重症仮死、奇形症候群、小児外科疾患、脳外科疾患のため長期入院となっている児について、在宅医療にむけて退院する前に、一般小児科病棟を経由する場合があります。

一般小児科とのスムーズな連携を目的として、転棟前に家族にどのような支援ができるのか、小児神経科医、新生児科医、臨床心理士、看護師、医療ソーシャルワーカーなど多職種が参加して意見交換するカンファレンスを毎週火曜日に行っています。



周産母子センター副センター長(兼)  
小児科 科部長  
**森沢 猛**

### 放射線室

当院では3台のMRI装置（1.5T 2台、3.0T 1台）が稼働しています。MRIは放射線被ばくがないため小児患者にも積極的に行っており、平成29年度 鎮静下小児MRI検査数（脳外、整形、形成を含む）は460例施行しました。小児に対するMRI検査は、小児自体の特殊性ゆえに装置や撮像法に工夫が必要となります。

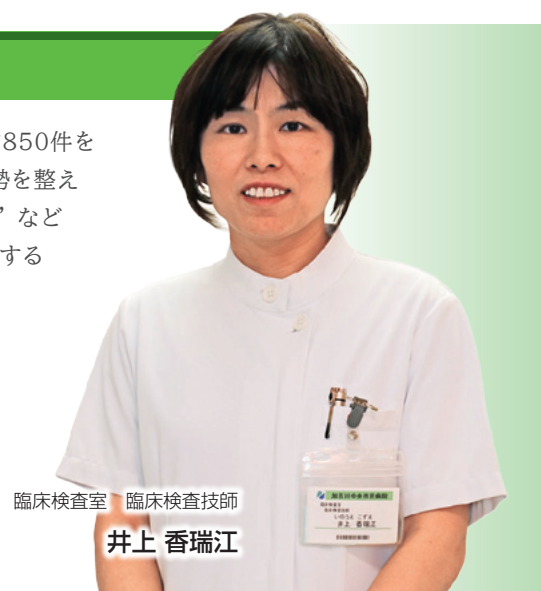
当院では、画期的な静音機能を有した最新MRI装置を使用し、騒音によって子どもを覚醒させることなく検査が可能です。私達も専門性をもって医師の要望に十分対応できるような画像を提供し、チーム医療に貢献できるよう心掛けています。今後も装置の共同利用のさらなる充実を図ってまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



放射線室 副技師長 診療放射線技師  
**中間 康夫**

### 臨床検査室

当院では、神経生理分野の検査の多くは小児科からの依頼であり、特に脳波検査は年間約850件を行っています。緊急時や診察当日に検査結果が必要になった場合でも、すぐに対応できる態勢を整えています。その中でも長時間ビデオ脳波は年間150件にのぼります。短時間では“てんかん波”などの異常が捉えられない患者については、病棟で電極を装着し、6～24時間の長時間脳波を記録する方法で検査を実施しています。さらに、NICUの新生児脳低体温療法時には、24時間体制で脳波検査ができるように医師と連携しています。他にもチーム医療の一環として医師と脳波勉強会も行うなど、より一層診療に貢献できるように『質』の向上にも努めています。



臨床検査室 臨床検査技師  
**井上 香瑞江**

小児科医は「子どもの総合医」です。われわれ加古川中央市民病院の小児科医も東播磨地域の中核小児医療施設として二次救急医療など子どもの総合医としての診療を行っています。また、当地域における高度な小児専門医療を提供することも当院の役割と考えております。育成医療も含まれる小児科の診療領域は非常に広範囲です。そのなかで専門医療を提供するため小児科内にもさまざまな専門領域があります。今回は、その中から小児神経分野とその取り組みについてご紹介させていただきます。

小児神経科はけいれん、運動・知能・感覚・行動または言葉の障害など脳、神経、筋に何らかの異常がある小児の診断、治療及び指導を行う科です。全国的には小児科から独立して小児神経科を標榜し専門的診療に取り組む病院も増えつつありますが、当院ではまず「子どもの総合医」でありたいと考え、小児神経科は標榜しておりません。しかし、小児神経分野、特に急性疾患については県内他施設に引けを取らない診療を実践していると自負しております。

これから小児科そして小児神経領域の代表的な症状であるけいれんを例として、小児神経分野の取り組みについてご紹介させていただきます。

けいれんは小児救急においては日常的に遭遇する症状です。しかし、そもそもそのけいれんは止まっているのか、抗けいれん薬で寝ているだけなのか、意識障害があるのか、これらは小児救急の場において、基本的でありながら、その評価は難しい問題でもあります。なぜなら、その評価により以後の検査・治療が全く変わってしまうからです。もしけいれんが持続しているのであれば止めなければなりませんし、意識障害が遷延しているのであれば髄膜炎・脳炎脳症など重篤な神経疾患を迅速に鑑別し、治療を開始していかねばなりません。その緊急度・重症度の評価は非常に重要にもかかわらず、一般的には担当医が主観的に判断しているところが大きいのが現状です。そこで、当院では救急外来でも簡易脳波を用いて評価し、医師の診察・主観だけではなく、客観的にもけいれんが止まっていること、意識障害が睡眠かを迅速に評価するよう努めています。現在は、救急外来の協力のもと、看護師により速やかに簡易脳波が装着されるようになり、より迅速な評価、患者の状態に応じた検査・治療の開始が可能となってきています。

小児神経の急性疾患においては中枢神経評価が重要です。CTだけではなく、現在は意識障害や脳炎脳症を疑った場合には時間外でもMRIによる神経画像評価が対応可能となっております。検査のなかでも特に脳波は、救急外来での意識レベル評価のみならず、ICUにおける意識・鎮静度の評価、一般病棟ではけいれん・てんかん発作の記録に重要な検査です。脳波については技師との脳波の勉強会を定期的に行っています。このように当院では救急外来から入院までさまざまな場面で診療放射線技師、臨床検査技師にも協力いただき、子どもたちの神経系急性疾患より迅速に診断・治療を開始できるよう努めています。

小児神経の急性疾患として、もう一つ新生児領域も重要です。当院は東播磨地域の新生児医療も担っております。新生児領域においてもけいれんはよくみられる症状です。一過性で治療を要さない状態から胎児仮死・新生児仮死に伴う低酸素性虚血性脳症、髄膜炎など重篤な後遺症を残しうる中枢神経疾患までさまざまです。われわれはNICUの医師とも連携して評価・治療方針の検討にあたっています。

小児神経で扱う疾患、特に中枢神経系疾患においては、残念ながら神経学的後遺症を残すこともあります。小児病棟、新生児病棟からの退院に際し、訪問看護ステーションなど院外との連携を行い、医療ソーシャルワーカーの介入を得て家族による在宅医療の継続・支援につなげる活動もしております。また臨床心理士により家族の心理面の支援も行っています。

以上のように、看護師だけでなく、診療放射線技師・臨床検査技師、医療ソーシャルワーカーや臨床心理士、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など多職種と連携し、チーム体制を作って診療・患者支援を実践しています。もちろん、これは小児神経領域に限ったことではないのですが、今回は小児神経領域を一例としてご紹介させていただきました。

最後に地域のみなさまへの市民講座についてもご紹介させていただきます。小児神経領域の慢性疾患としてけいれんを繰り返す「てんかん」の診療も外来では多く行っております。てんかんは100人に1人のありふれた疾患にも関わらずさまざまな誤解や偏見が根強く残っている疾患です。当院では、てんかんについても市民講座を行い、地域のみなさまに貢献できればと考えております。

以上、子どもの総合医である小児科を小児神経という視点から専門・高次医療とそれを可能とする多職種連携・チーム医療についてご紹介させていただきました。地域の中核病院として、みなさまが安心してご紹介いただけるよう励んでまいりたいと存じます。



小児科 科部長(兼)  
在宅医療支援室長  
**親里 嘉展**





# 登録医紹介

当院と連携いただいている登録医療機関をご紹介します。

## たなかペインクリニック

診療科：ペインクリニック内科／麻酔科

ニッケクリニックモール3階で診療しております。ペインとは痛みの事で全身に出現する痛み全般を診察しております。腰痛、肩の痛み、頸の痛みだけでなく帯状疱疹の痛み、頭痛、原因不明の痛みをお持ちの患者様もおられます。従って加古川中央市民病院様からのご紹介も整形外科のみならず、神経内科、総合内科、循環器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、泌尿器科等、様々です。痛みには強く激しいものから、弱いが不快に感じるものまで様々有ります。そもそも痛みとは警告信号としての一面があり、我々の生命維持には欠かせないものです。しかし、痛みが慢性化してしまうと生活の質が低下します。痛みは慢性化する前に取り除かないとイケナイのです。ペインクリニックではブロック注射と投薬を駆使して痛みを迅速に取り除く治療を行います。

患者様の病状を分かりやすくご説明させて頂き、患者様の御意思を尊重し患者様に寄り添って、患者様とスタッフが丸となって痛みに立ち向かう姿勢で診療させて頂いております。



院長：田中 孝憲 先生



所在地：加古川市加古川町寺家町303

ニッケクリニックモール加古川3階

駐車場台数：ニッケパークタウンの駐車場、または契約駐車場をご利用ください。

**TEL.079-456-6700**

| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00～12:00  | ○ | ○ | ▲ | ○ | ○ | ★ | — |
| 午後 15:00～18:00 | ○ | — | — | — | — | — | — |
| 午後 15:00～18:00 | — | ◎ | — | ◎ | ◎ | — | — |

▲ 水曜日の午前診療は第1,3,5週目のみです ◎ 専門外来(予約制)  
★ 土曜日の午前診療は9:00～13:00

## すみなが小児科アレルギー科

診療科：小児科／アレルギー科

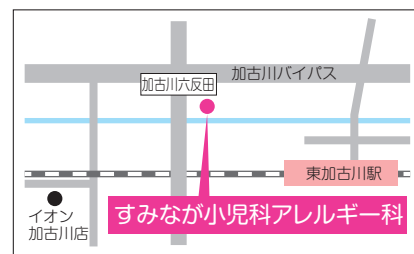
平成30年4月から東加古川の大山小児科を承継し「すみなが小児科アレルギー科」を開院させていただきました。こどもたちの健やかな発育発達はそのご家族の健康を含めたトータルで考えていくことが必要であると考えており、地域の皆様のかかりつけ医として、気軽に安心して受診していただける医院を目指しております。

一般小児疾患と食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎・じんましん・花粉症などのアレルギー疾患を中心に診療をさせていただいております。症例によっては、食物負荷試験やダニやスギ花粉の舌下免疫療法にも対応していますが、アナフィラキシーの対応など緊急時の対応や重症例など加古川中央市民病院のバックアップはたいへん心強く感じております。また、低身長や思春期早発症などの小児内分泌疾患の診察もしております。

中央市民病院の先生方やスタッフの方には、時間外などでも紹介患者様を快くお引き受けいただき心より感謝申し上げます。微力ながら地域医療に貢献させていただければと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



院長：住永 亮 先生



所在地：加古川市平岡町新在家1371-4

キングヴィア東加古川1F

駐車場台数：15台

**TEL.079-422-3929**

| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 午後 15:00～16:00 | ★ | — | ★ | ★ | ★ | — | — |
| 午後 16:00～18:30 | ○ | — | ○ | ○ | ○ | — | — |

★ 予約制外来(Web・電話予約可)

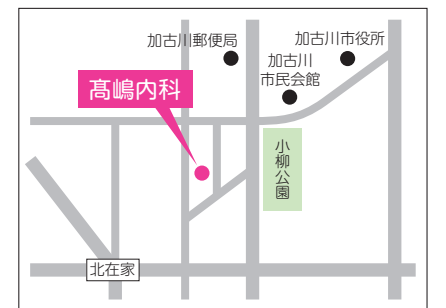
## 高嶋内科

診療科：内科／糖尿病内科

当院は、糖尿病・高血圧症・脂質異常症・痛風などの生活習慣病を中心に診療を行っておりますが、地域に根ざした身近な「かかりつけ医」として、医療・介護の諸問題についても気軽にお話ししていただける「よろず相談所」でもあります。専門とする糖尿病では、患者様の62%が65歳以上で、インスリン等の自己注射をされている方が2割以上おられます。インスリン注射導入時、血糖コントロール不良時など、糖尿病・代謝内科に(教育)入院をお願いしています。糖尿病合併症の発症・進展阻止にも専門各科と連携して対応しております。循環器・消化器・呼吸器など専門外の疾患も、適切なご指導を仰ぎながら診療レベルの向上に努力しております。複数の疾患をお持ちの高齢の患者様より、内科以外の相談を受けることも多く、加古川中央市民病院のすべての診療科の先生に大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。



院長：高嶋 隼二 先生



所在地：加古川市加古川町北在家2447

駐車場台数：21台

**TEL.079-427-2200**

| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 8:30～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 午後 16:00～18:30 | ○ | ○ | ○ | — | ○ | — | — |

## 今村内科医院

診療科：内科／消化器科

当院は平成16年7月にJR加古川駅の北にある「おいしゃさんビル」の1階で開業しました。

開業するまでは兵庫県立がんセンター、県立加古川病院で23年間勤務しました。

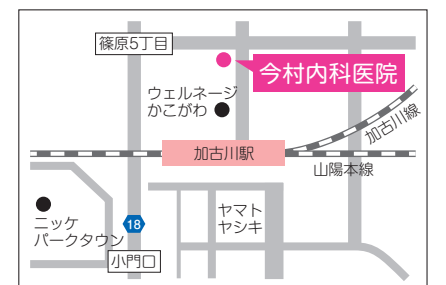
専門は糖尿病と消化器ですが、糖尿病、高血圧、脂質異常症の3大生活習慣病と感染症の患者さんがほとんどです。

私の外来診療方針は以下の通りです。

- 1) 患者さんの症状を詳しくききながら、考えられる疾患名を頭に思い浮かべる。
- 2) 症状が軽くても面倒くさらずに、触診、聴診、視診をする。
- 3) 診断と治療のための最小限の検査をする。
- 4) 当院での治療可能かどうかを判断し、迷った場合は病院に紹介する。
- 5) 投薬は必要な薬のみにし、落ちついている患者さんには長期処方をして、外来の待ち時間を少なくする。



院長：今村 諒道 先生



所在地：加古川市加古川町篠原町111

おいしゃさんビル1F

駐車場台数：90台(おいしゃさんビル内)

**TEL.079-425-1181**

| 診療時間           | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00～12:00  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | — |
| 午後 16:00～19:00 | ○ | — | ○ | — | ○ | — | — |